

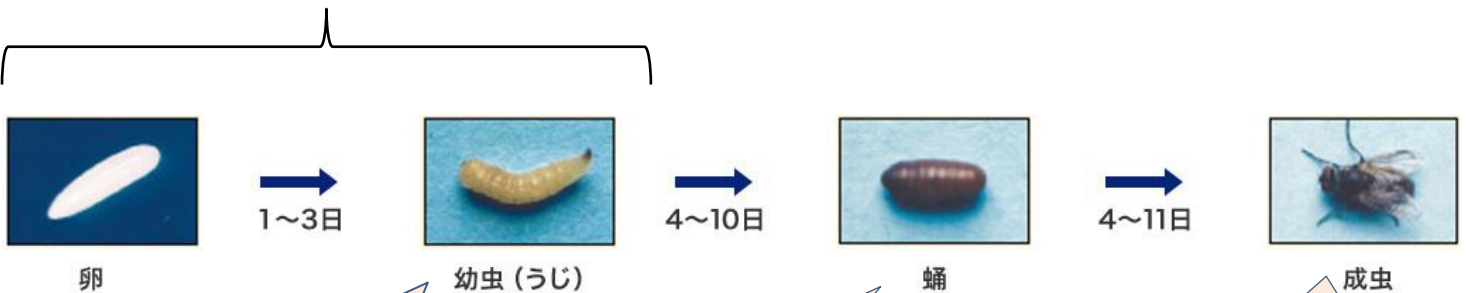
ハエの防除対策を実施しましょう！

イエバエの活動は、梅雨の前後と夏から秋の時期に活発化します。ハエの発生は近隣住民からの苦情の原因になるばかりでなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる家畜の生産性の低下にもつながります。

まず、幼虫（うじ）が多くいる糞、飼料残渣や水槽廻りなどの発生源を確認の上、清掃やIGR剤等による幼虫対策を中心にハエの発生密度を抑えてください。

環境対策（ハエの産卵・生育場所をなくしましょう）

- 家畜の糞尿やこぼれた飼料のこまめな除糞、清掃
- 適切な堆肥化（40℃以上、水分50%以下でふ化率ダウン）



動きが鈍いこの時期に
徹底的に対策を！
→水たまりにIGR剤（昆虫
発生抑制剤）の散布

殻で薬が効きづらい
→集めて潰す又は焼却

成虫がよく休む天井、壁、支柱に
殺虫剤（有機リン剤）に噴霧
・残留噴霧：HANDSPREYで
天井、壁、支柱に噴霧
・ペイント：板や縄に薬剤を塗布
して設置

注意

※薬の飛散防止のため、風の強い日の散布は避けましょう！（雨天、曇天の日）
※同じ薬剤を連用せず、異なる系統の薬剤をローテーションして使用しましょう。

本格的に暑くなる前の、今がチャンスです！

梅雨明け前の暑熱対策をお願いします

気象庁の3か月予報では、今後の関東地方の平均気温は例年より高くなる見込みと予想されています。

暑くなる前に、暑熱対策の取り組みをお願いします。



暑熱対策のポイント

- ✓ 換気扇や扇風機による畜体等への送風や散水・散霧
- ✓ 畜舎環境の改善
 - 寒冷紗やよしずによる日よけの設置
 - 屋根裏・壁・床への断熱材の使用
 - 屋根への石灰塗布
- ✓ 良質で消化率の高い飼料や、ビタミン・ミネラルの追給、きれいで冷たい水の給与
- ✓ 高温・多湿で飼料が変敗しやすい季節です。十分確認してから給与しましょう。



家畜排せつ物の適切な管理をお願いします

一定規模以上の畜産農家には、家畜排せつ物法に規定される管理基準を守っていただく必要があります。管理基準に関する詳細については別紙をご確認ください。

